

陸上競技部

■第72回 兵庫県高等学校陸上競技対校選手権大会を終えて

5月31日(金)～6月2日(日) 神戸総合運動公園陸上競技場において標記の大会が行われました。大会一日目には女子400mと男女4×100mリレーに出場しました。全ての種目に全力を尽くし、男女4×100mリレーにおいてはシーズンベストを出すことができました。二日目の男女4×400mリレーでも3年生を中心に今まで以上の力を発揮して、全力で最後まで取り組む姿勢にはたくさんの感動が生まれました。以下には大会を終えて選手たちのことばを掲載します。



【1年】「補助員として競技場全体に目を配り、今までに触れる機会の無かった競技に目を向ける機会をいただいたことは自分にとってとても財産になる経験だったと思います。これから自分が成長し、チームに貢献していけるよう、意識していきたいことは『視野を広く持つ』ことと『冷静さ』です。」

【2年】「大会で自分が一つでも上のラウンドに進み、チームに貢献したい。種目が違って良い影響を与え、チーム全体に活気が湧いてくると思う。目標はユースの阪神大会で準決勝に進むことです。最高のコンディションで走れるようにしたい。」

【3年】「最後にリレーを走ったことで再び全力を出すことの偉大さを学ぶことができた。私自身から本気でお互いが向き合い、成長できるような雰囲気を生み出せるような人になりたいと思った。自分の意識を変えられたのは決して私の力のみではなく、陸上部のメンバーや顧問の先生方、両親などの大きな支えがあったからである。本当にありがとうございました。」

【3年】「この3年間立てた目標を何一つ達成することができませんでした。後輩に対してうまく指示ができなかったことなど、自分の人間力の無さを感じることも多々あり、自分の人間としての成長が足りていないと感じ、社会の人材として自分を見ても求められるような人材ではないと痛感することもあった。2年生、1年生は悔いを残さぬよう、周りに信頼され、自分で自分を誇れるように頑張ってください。」

【3年】「陸上競技は周りとは競い合いますが最終的には自分との戦いだと思います。2年生を中心に西宮東のチームをより良いチームにしていってください。一人一人の成長を陰ながら応援しています。」